

日本計量新報

計測と科学
毎週日曜発行
日本計量新報社

東京都江東区亀戸7丁目62-16
〒136-0071 TEL 03-5628-7070
FAX 03-5628-7071

http://www.keiryu-keisoku.co.jp/

振替口座 00140-5-12935
購読料年間 25,000円(消費税別)

定量計量専用機

Pack NAVI

速くハカル、

楽にツメル



Yamato

大和製衡株式会社 tel:078-918-6577
http://www.yamato-scale.co.jp/

今週の主な記事

JEMIMAが計測会館で定時総会開く ①②面
新型コロナウイルスで緊急事態宣言 計測計測各業
界の対応(機関・団体・企業) ③④⑤⑥面
計測計測関連団体の総会開催状況 ⑦面
資料・検定新型コロナウイルス ⑧⑨面
NMS研究会発表会 ⑩面
社説、火星コアの物質の測定成功 ⑪面
A&DのX線検査機、インダゴイシタメディカル
を設立、島津製作所関連2題ほか ⑫面

日本電気計測器工業会が総会開く 2020年5月15日、JEMIMA計測会館で テレビ会議システム(Webex)を併用

日本電気計測器工業会(JEMIMA)は5月15日、東京都中央区の「JEMIMA計測会館」で、第61回(2020年度)定時総会を開催した。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、テレビ会議システム(Webex)を併用して開催した。

総会は、開会の辞のあと、西島剛志会長のあいさつがあり、同会長が議長となつて議事を進行した。当日の式次第と議案は次のとおり。

- 1、開会の辞
- 2、会長あいさつ
- 3、総会成立報告
- 4、議案

第一号議案「2019年度事業報告および決算報告の承認」
第二号議案「2020年度入会金および会費算定基準(案)の審議、決定」

第三号議案「2020年度事業計画(案)および予算(案)の審議、決定」
第四号議案「役員選任の承認」
第五、閉会の辞

議案は、いずれも原案どおり承認、決定された。政策課題部会においては、時々の政策課題に対応するのが部会の役割であり活動テーマの新陳代謝が重要との観点から、2019年度に実施したアンケート結果を踏まえ、新しい政策課題の議論を進める。並行して工業会のSDGsへの取り組みに関する情報発信の原案を策定する。

製品別部会においては、標準化規格化に関する課題共有と委員会間連携の促進、技術分野の最新動向に関する勉強会開催を通じた会員の市場探索への寄与を目標に活動をおこなう。また、コシエルジュ事業と連携して、IEC/JIS改定に係る経過情報の会員への提供を進める。

2020年度の当工業会の収入は、前年度とほぼ同額と予想されるが、委員会活動等の会員サービスにつながる活動については、前年度の実績を下回らない計画とする。予算の執行に当たっては、不要な支出を抑制し、収支均衡を目指す。

以下、次の分類に従つて事業計画の要点を示す。

- I、調査研究・広報事業
- II、標準化・規格制定事業
- III、展示会事業
- IV、関西支部事業
- V、その他事業

I、調査研究・広報事業

- 1、調査研究事業
- (1)企画運営会議
- (2)企画運営会議関連
- (3)企画運営会議
- (4)企画運営会議

理事会の諮問・各委員会の調整・推進機関として、4つの部会と連携して、工業会活動の拡大・効率化を図る。工業会自体のグローバル化を支援・促進する。情報発信力を強化する。展示会の実行を支援し将来像を検討する。セミナー事業の充実を図る。また、会員の満足度向上と新規会員拡大を図る。さらに、JEMIMAアンケートにおける各種要望への対応を検討・実施する。

- (2)IoTイノベーション推進委員会
- 国際標準連携/横断イ

(次ページへつづく)



昨年の日本電気計測器工業会の定時総会のようす

2020年度は、大きく変革しつつある産業にあつて、そのマザーツールである計測制御機器を提供する企業の集まりとして、国際的な動向と先端技術情報を取り込んで産業界の将来を見極め、会員企業、顧客、ひいては社会の期待に応えられる工業会を目指すことを基本方針として活動する。

個別事業の連携強化による活動の拡大と効率化、工業会活動の更なるグローバル化、会員企業の満足度向上という視点での事業内容の見直し

基本機能部会は企画運営会議との連携を継続しつつ、部会としての方針である、情報発信力の強化、展示会事業の価値向上、及びグローバル化を重点に部会傘下の委員会の活動を進める。規制・制度部会におい

ては、コンシエルジュ事業との連携した法規制監視一覧の定期更新、セミナー実績・予定の公開準備などの会員向けサービスの充実、部会内ディスカッションによる委員会間連携の強化と課題解決、会員のニーズ探索と情報発信に着手する。

政策課題部会においては、時々の政策課題に対応するのが部会の役割であり活動テーマの新陳代謝が重要との観点から、2019年度に実施したアンケート結果を踏まえ、新しい政策課題の議論を進める。並行して工業会のSDGsへの取り組みに関する情報発信の原案を策定する。

製品別部会においては、標準化規格化に関する課題共有と委員会間連携の促進、技術分野の最新動向に関する勉強会開催を通じた会員の市場探索への寄与を目標に活動をおこなう。また、コシエルジュ事業と連携して、IEC/JIS改定に係る経過情報の会員への提供を進める。

2020年度の当工業会の収入は、前年度とほぼ同額と予想されるが、委員会活動等の会員サービスにつながる活動については、前年度の実績を下回らない計画とする。予算の執行に当たっては、不要な支出を抑制し、収支均衡を目指す。

以下、次の分類に従つて事業計画の要点を示す。

- I、調査研究・広報事業
- II、標準化・規格制定事業
- III、展示会事業
- IV、関西支部事業
- V、その他事業

I、調査研究・広報事業

- 1、調査研究事業
- (1)企画運営会議
- (2)企画運営会議関連
- (3)企画運営会議
- (4)企画運営会議

理事会の諮問・各委員会の調整・推進機関として、4つの部会と連携して、工業会活動の拡大・効率化を図る。工業会自体のグローバル化を支援・促進する。情報発信力を強化する。展示会の実行を支援し将来像を検討する。セミナー事業の充実を図る。また、会員の満足度向上と新規会員拡大を図る。さらに、JEMIMAアンケートにおける各種要望への対応を検討・実施する。

- (2)IoTイノベーション推進委員会
- 国際標準連携/横断イ

(次ページへつづく)

120年の伝統とイノベーションの計量装置総合システムメーカーです。

OMI 計量と制御の技術集団

OMIの製品<支えるのはイノベーション>

各種工業用プラント

各種農水産物選別プラント

液体・粉粒体充填装置

配合・調合計量システム 設計・製造

トラックスケール計量・データ管理システム

トレーサビリティ管理システム

各種穀物用計量機

多彩なニーズに120年の技術開発とノウハウでご提案します。

計量システムの専門メーカー

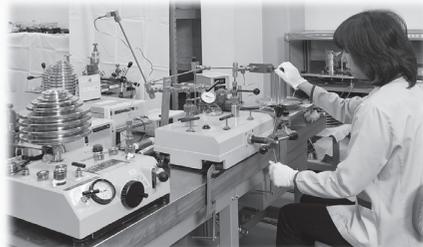
近江度量衡株式会社

本社 〒525-0054 滋賀県草津市東矢倉 3-11-70
TEL.077-562-7111 FAX.077-562-7116

【国内拠点】 本社草津工場・東京・札幌・帯広・仙台・新潟・熊本・久留米
【海外拠点】 韓国(仁川)・中国(上海)・タイ(バンコク)

URL: http://www.omiscale.co.jp

圧力計測機器の校正は 長野計器グループへ



豊富な校正機器、充実した校正設備で様々なニーズにお応えします。



高いスキルを持ったスタッフが丁寧にJCSS校正作業をおこなっています。

長野計器とナガノ計装は、計量法に基づく圧力の校正事業者です。



長野計器株式会社 品質保証部(JCSS0080)と株式会社ナガノ計装 計測器校正サービスセンター(JCSS0143)は、認定基準としてISO/IEC 17025(JIS Q 17025)を用い、認定スキームをISO/IEC 17011に従って運営されているJCSSの下で認定されています。JCSSを運営している認定機関(IAJapan)は、アジア太平洋試験所認定協力機構(APLAC)及び国際試験所認定協力機構(ILAC)の相互承認に署名しています。

長野計器

本社/〒143-8544 東京都大田区東馬込 1-30-4 TEL 03-3776-5311 FAX 03-3776-5320
http://www.naganokeiki.co.jp/ お問い合わせはフリーコール/0120-10-8790

ナガノ計装

本社/東京営業所 〒143-0022 東京都大田区東馬込 1-30-4(長野計器ビル)
TEL 03-5718-3281 FAX 03-5718-0238 http://www.nagano-keiso.co.jp